

病院前救護所での備蓄医薬品について

Ⅰ 備蓄する医薬品の種類

下表は、阪神・淡路大震災における経過時間に応じた医薬品の需要と供給の変化を参考とし、習志野市で現在備蓄している医薬品に反映させたもの。

阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発災）

	急性期（地震発生～2月上旬）
	安定期（2月中旬～2月下旬）
	減少期（3月）

Ⅰ. 内服薬

薬効	一般名	商品名
催眠鎮静剤	プロチゾラム 0.25 mg	プロチゾラム OD錠 0.25 mg 「日医工」
消炎鎮痛剤	ロキソプロフェンナトリウム 60 mg	ロキソプロフェン Na錠 60 mg サワイ
消炎鎮痛剤（小児）	アセトアミノフェン 0.5g 分包	カロナール細粒 20% ※0.5g×1200 包
抗不安薬	クロチアゼパム 5 mg	クロチアゼパム錠 5 mg 「サワイ」
消化器用剤（鎮痙剤）	臭化ブチルスコポラミン	ブチルスコポラミン臭化物錠 10 mg
消化器用剤（制嘔吐剤）	ドンペリドン 5 mg	ドンペリドン 5 mg 「JG」 ※OD錠
消化器用剤（止しゃ剤）	塩酸ロペラミド 1 mg	ロペラミド錠 1 mg 「EMEC」
消化器用剤（止しゃ剤 小児）	塩酸ロペラミド 0.2g 分包	ロペラミド塩酸塩細粒小児用 0.05% 「タイヨー」
消化器用剤（下剤）	センナ草エキス 12 mg	センノシド錠 12 mg 「サワイ」
消化器用剤（整腸剤）	ビフィズス菌 12 mg	ビオフェルミン錠剤
消化器用剤（整腸剤 小児）	ビフィズス菌 1g 分包	ラックビー微粒 N1% ※1g×1008 包
抗生物質（ニューキノロン系）	レボフロキサシン 250 mg	レボフロキサシン 250 mg 「DSEP」
抗生物質（セフェム系）	セフカペンピボキシル塩酸塩 100 mg	セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100 mg 「CH」
抗生物質（セフェム系）	セフカペンピボキシル 0.5g 分包	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10% 「CH」
循環器用（冠血管拡張剤）	アムロジピン 5 mg	アムロジピン OD錠 5 mg 「JG」 ※OD錠
循環器用（降圧剤）	ニトログリセリン 0.3 mg	ニトロペン舌下錠 0.3 mg
抗ヒスタミン剤	クロルフェニラミンマレイン酸 2 mg	ポララミン錠 2 mg ※1箱 1000錠
抗ヒスタミン剤（小児）	クロルフェニラミンマレイン酸 1g 分包	ポララミンドライシロップ 0.2%
鎮咳剤	デキストロメトर्फアン 臭化水素塩水和物 15 mg	メジコン 15 mg

2. 注射薬

薬効	一般名	商品名
交感神経刺激剤 輸液	アドレナリン 乳酸化リンゲル液 500ml	アドレナリン注 0.1%シリンジ ラクテック注 500ml
	生理食塩水 20ml	生理食塩液 20ml

3. 外用薬

薬効	一般名	商品名
局所麻酔薬	リドカイン塩酸塩 1% 10ml	キシロカイン注ポリアンブ 1% 10ml
抗生物質	硫酸ゲンタマイシン 0.01% 10g	ゲンタマイシン硫酸塩 0.1% 「タイヨー」 10g
熱傷治療薬	ジメチルイソプロピルアズレン 0.033% 20g	アズノール軟膏 0.033% ※20g×200 本
消炎鎮痛剤（貼付薬）	ロキソプロフェンナトリウム水和物 10 cm×14 cm	ロキソプロフェンナトリウムハップ 100 mg
気管支拡張剤（貼付薬）	ツロブテロール 1 mg	ツロブテロールテープ 1 mg 「日医工」
消毒剤	グルコン酸クロルヘキシジン酸塩液 500ml	0.05% グルコジン R 「ヤクハン」
消毒剤	エチルアルコール 70% 500ml	消毒用エタノール 「トライックス」 500ml×12 本
消毒剤	塩化ベンザルコニウム 0.20% 300ml	ウエルパス手指消毒液 0.2% 300ml
合成抗菌剤（点眼薬）	レボフロキサシン水和物 1.5% 5ml	クラビット点眼液 1.5% ※5ml×10 本
洗浄用生理食塩水	生理食塩水 500ml	大塚生食注 広口開栓 500ml
気管支拡張剤（吸入薬）	プロカテロール塩酸塩水和物	メプチンキッドエア 5μg 吸入 100 回

検討①

- ・ 救護所の設置期間は72時間を目安としているため、急性期（赤）の医薬品を備蓄することとしていかがか。

2 備蓄する医薬品の量

各病院が所管する範囲で想定される傷病者数（所管する範囲は目安）

※被害想定は「千葉県北西部直下地震（M7.3）」

済生会習志野病院 （実花・東習志野・実籾・屋敷・ 大久保東・大久保）		習志野第一病院 （藤崎・鷺沼・津田沼・ 袖ヶ浦西・袖ヶ浦東）		津田沼中央総合病院 （奏の杜・谷津・向山）		谷津保健病院 （谷津南・秋津・香澄）	
総人口	71,166	総人口	52,612	総人口	26,359	総人口	24,929
死亡者	152	死亡者	63	死亡者	4	死亡者	3
負傷者	970	負傷者	446	負傷者	55	負傷者	53

引用：令和5年3月 地区別防災カルテ より

検討②

- ・ 各病院で備蓄していただく医薬品の量については、上記の死亡者・負傷者数の想定を踏まえ必要数量を算定し、各病院と備蓄可能かすり合わせをすることでよい。